



栃木市議会議員

こだち孝之の きになる NEWS



No.5

発行責任者
 栃木市大平町富田898-4
 日立GLS労組栃木支部内
 電話 0282-43-3039
 小太刀 孝之
 編集者 山下智寛

5/9(火)に臨時議会が開催され、補正予算1件が原案の通り可決されました。また、令和5年度最初の定例議会である6月議会が6/9(金)～6/28(水)までの20日間の会期で開催されました。初日の6/9(金)には、副議長選挙が行われ、天谷議員が副議長に選任されました。それに伴い、広報委員会の役職と委員の変更があり、私こだち孝之が広報委員会副委員長に任命されました。議案等については、議案15件、陳情1件が審議され、各議案ともに原案の通り可決され、陳情1件も採択されました。



5月臨時議会で決まったこと (補正予算)

補正予算を原案の通り可決

6月定例議会で決まったこと (主な議案)

条例を新たに制定

<議案第62号>
 栃木市シェアサイクル条例の制定

可決 全会一致

高規格救急自動車を購入

<議案第70号>
 財産の取得(高規格救急自動車)

可決 全会一致

選択的夫婦別姓に関する 議論の活性化を

選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を国会に提出する事を要望する陳情

採択 全会一致

物価高騰の影響を受けている低所得者の子育て世帯を支援するため、国から交付金が支給される。

・早急に実施が必要な事業に対し、
6月議会前に補正予算の追加を審議



「低所得者の子育て世帯に対する
子育て世帯生活支援特別給付金支給事業」
 「保育所の空き定員等を活用した未就園児の
定期的な預かりモデル事業」

・栃木市シェアサイクルを設置するに当たり、その設置および管理に関し、必要な事項を定めるため条例を制定するもの

◎事業はいつから・・・7/1(土)から実施されています。
 ※電動アシスト自転車が市内8ヶ所に配置されますので
 まちなかの移動手段としてご利用ください

・栃木市消防署藤岡分署に配備中の高規格救急自動車1台が老朽化したため、高規格救急自動車を1台購入するもの

※約9年間使用 走行距離：約20万7千km

【主な意見】：採択すべき（賛成）

・意見陳述において、陳情者が社会で生きづらさを感じており、切実な問題であることが伺えた。今回の陳情は、選択的夫婦別姓制度について国会で議論すべきとの趣旨であり、意見書を提出することに賛成である。

・陳情者より「選択的夫婦別姓制度は現在社会問題となっている事実婚や非婚化、少子化対策に繋がる可能性がある」との説明があり、国会に議論の活性化を求めていくとの趣旨であることから賛成である。

一般質問報告

令和5年度6月定例議会にて、6/13(火)に一般質問に登壇させて頂きました。今回の一般質問では、教育費負担が増加する高校生から大学生までの子育て支援について、およびこの夏に小山市・栃木市で開催が予定されている女子野球の国際大会である「第1回ポニーガールズベースボールワールドシリーズ」について質問させて頂きました。
※6月議会は14名の議員が一般質問に登壇しました。

◆本市における子育て支援の拡充について

- (1) とちぎ吾一奨学金について
- (2) ゆめ応援奨学金および住まいる奨学金について
- (3) 貸与型奨学金の返還について…(右記参照)**
- (4) 通学版楽賃(らくちん)について



©2014栃木市とち介



©2014栃木市とち介

◆女子野球国際大会開催について

- (1) 本市はこの大会に準備を含めどのように関わっていくのか
- (2) 老朽化が進む「とちぎ木の花スタジアム」について

【質問】

本市の貸与型奨学金である住まいる奨学金は、卒業後1年以内に栃木市に居住し、引き続き5年間居住した時点で奨学金の返還を全額免除(但し、栃木市に住民票があり実際に居住していることが条件)となっている。同じく貸与型のゆめ応援奨学金の返還期限は、卒業後1年を経過した後か貸付期間の2倍に相当する期間となっている。全国で行った生活実態調査によると、奨学金について「長期間に渡る返済で、今も家計を圧迫している」「社会人になった瞬間から借金を背負うのは親の所得による不平等や、人生における負担が大きすぎる」と言った切実な声が上がっており、負担を軽減するための税制支援(所得控除または税額控除)等の施策が必要と考えるが、本市の見解を伺う。



【答弁】

住まいる奨学金については、卒業後1年以内に栃木市に居住した場合に返還を猶予し、引き続き5年間居住した場合は返還を免除する制度であるが、要件を満たさなくなった場合は、ゆめ応援奨学金と同様に貸付期間の2倍に相当する期間内に返還することとなる。本年4月には、住まいる奨学金の制度創設後、初めて5年間居住した利用者が8名おられ、現在免除の手続きを進めている。本市の貸与型奨学金の返還については、負担の軽減に取り組んでいるが、若者世代にとって奨学金の返還は大きな負担であることから、今後、先進自治体の返還支援策について研究を進める。

日立栃木理科クラブが 開所11周年を迎えられました

日立栃木を退職された皆さまによる工作ボランティア「日立栃木理科クラブ」が、本年4月に11周年を迎えられました。教材のほとんどが手づくりであり、小学生(3~6年生)を対象に、さまざまな原理をモノづくりを通して学べる場であることから、大変人気が高く毎回定員を超える応募があります。コロナ禍の影響により閉鎖していた時期もありましたが、11年間で約6,600人を超える累計受講者数に達しています。これからも市内の小中学生のために、活動の継続を応援していきます。



感謝状贈呈式 (栃木市教育長より)

市民の皆さまの声を受けて

市民の皆さまから「市役所立体駐車場が一部危険」との声を受け、3月定例議会で一般質問に取り上げた「市役所駐車場の安全対策」について、早速上りと下りの合流地点に注意喚起の標示が追加されました。これで安全対策が完了したわけではありませんが、合流地点の接触事故とヒヤリハットの発生軽減に繋がることを期待しています。

お車で来庁された際に、ご確認ください。



市役所立体駐車場
合流地点の標示



市政報告会

こだち孝之「市政報告会」を4/19(水)に開催致しました。当日の様子を右記QRコードか下記URLよりご覧ください。



URL : <https://youtu.be/rUtHpVFM2nQ>